

青春ポエム「I Love 信州」コンクール入選作

(長野厚生年金会館主催；1995年3月)

再生の活舞台^{アリイナ}

藤森 弘

月光が水面に乱反射して

雪解け水が虹色に輝く

薄明に流れ落ちる滝は

「白い大蛇」のようだ

八ヶ岳の麓から太陽の子供たちが躍り出て

目覚めの音楽を奏でる

森が再びざわめき始め

虚空^{こくう}に向かって風が渦を巻く

大地から立ち昇る螺旋形の生命波動

冬から春へ

夜から朝へ

太古から未来へ

循環する地球の生命の鼓動が聞こえる

一九九八年 新春

世界平和の使命を受けた若人が信州に集い

青春を謳歌し 人類永世の希望を誓う

「戦争の二十世紀」に終止符を打つ

世紀末の祭典「冬季五輪」がやって来る

信州は「再生の祭り」の活舞台^{アリイナ}だ

(岡谷市長地／文筆翻訳業・32歳)

青春ポエム I Love 信州

長野厚生年金会館編



ありがとうを明日へ…

10周年
長野厚生年金会館

いま、信州は
躍動と展開、変貌の
真っ只なかにあります。
わが信州への思い
わが人生の思いを